

令和5年11月22日（水）

「生徒会活動が活性化すると、その先には・・・」

11月7日（火）生徒会引継式及び任命式は、役員を退任する3年生の思いや新役員となった2、1年生の決意が十分に伝わる式だったと思います。（聞く態度には課題あり）

生徒会活動が活性化すると、学校全体に勢いが出て、学習面や部活動等でも成果が出てくるようになります。実際に、私が勤務した過去の学校や部活動等で活躍を見せていた学校の多くが、生徒会活動も活発に行われていました。

生徒会活動が活発に行われるようになると、学習面や部活動等の結果が良くなる・・・それは、なぜでしょうか。

志布志中でも行われている生徒会活動は、大きく次の2つに分かれています。

① 常時活動・・・執行部、専門部の活動で、担当者、仕事の内容が決まっている活動

② 時期限定の活動・・・各種行事等での進行など（例：体育大会、文化祭 等々）

ここで、質問を3つしますので、皆さんは自分の日頃の様子を思い出してください。

【質問1】 自分の学級や学校での常時活動は何であり、その役割を果たしているか。

【質問2】 常時活動をするとき、自分の頭で考え、活動しているか。

【質問3】 学級や学校の様子から改善すべき点を見つけ、その課題を言えるか。

この3つとも答えることができたなら、生徒会活動の活性化への第一歩である「自分の頭で考える」ことができていると言えます。先生方から指導された（言われた）ことだけを機械的に取り組んでいる、または、自分の役割の認識が十分とは言えない状態だとこの質問には答えられないでしょう。

「自分の頭で考える」ことができる力は、学習面はもとより、部活動等でも必ず生きてきます。つまり、日々行っている生徒会活動を活性化するために自分たちでより良い目標を設定し、活動することができるようになれば、おのずと学習や部活動等の成績も上がってくるというわけです。

【お願い】 一所懸命頑張る人の足を引っ張ることがないよう、自分の日頃の言動を振り返り、一所懸命頑張る人に協力、応援できるようになりましょう。